

## クリスマスだからかんがえる

初瀬基樹

(園のクリスマス会でお話ししたことです。)

クリスマスおめでとうございます。

古い歌をご紹介します。といっても私もつい最近知った歌で曲は聴いたことがありませんので歌詞を紹介させていただきます。

### 「クリスマスだから考える」

作詞 阪田寛夫 作曲 服部公一

クリスマスだから考える たくさんたくさんたくさん 悲しんでいる人のこと  
それからすこうし考える どうしてどうしてどうして 悲しいことがあるのかな  
クリスマスだから考える 悲しんでいる人のこと

この歌詞を知って、私は「本当にクリスマスだからこそ、たくさんたくさん考えなくちゃいけないな」と思いました。悲しんでいる人のこと、そして、どうして悲しいことがあるのか・・・。

すぐに思い浮かんだのは、イスラエル・パレスチナのガザ地区のことです。ロシアとウクライナの戦争もまだ続いています。イスラエルやパレスチナというのは、イエス様がお生まれになったところです。

現在、激しい戦闘が起きているガザという地区もイエス様がお生まれになったベツレヘムの近くにあります。この地方は、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教という3つの宗教がお互いに自分たちの宗教の聖地だと主張して争いが絶えません。今年はクリスマスだというのに、戦闘が続いているせいで、イエス様がお生まれになったベツレヘムでのクリスマスの行事さえ中止になったそうです。

クリスマスだというのに、いまだに続く戦闘でたくさんの人が犠牲になっています。食べ物や着るもの、住むところを奪われ、幼い命までもたくさん奪われています。

今年も皆さんからお預かりした献金をそうした困っている人たちのところへ送るつもりですが、もっと私たちにできることはないのでしょうか？

戦争は、遠いよその国の出来事ではなくなってきました。戦争を放棄してきたはずのわたしたちの日本でも、近年、防衛費の増大、憲法改正、集団的自衛権の行使容認、敵基地攻撃能力の保有などなど、着々と戦争ができる国に変えられようとしてきています。

そもそも人と人が殺し合うような戦争なんてものが起きない世の中を、私たち自身が作っていかなくてはいけないのではないのでしょうか。

「ただ、楽しいクリスマスが迎えられればそれでいい」ではなく、「悲しんでいる人のこと、どうして悲しいことがあるのか」も一緒に考えていっていただけたらと思います。

イエス様がお生まれになったのは、「世界中の人たちがみんな仲良く幸せになるため」なのです。

神様が自分の子どもであるイエス様をこの世に贈ってくださった意味をかみしめながらクリスマスと一緒に祝いましょう。